

税金の使い方ただして ぐらしに希望を

こんな日本で
いいはずが
ありません

- ▼税金で行う「桜を見る会」を後援会行事にしていた安倍政権の政治の私物化
- ▼原発を推進する電力会社役員が多額の金品を受け取っていた利権マネー
- ▼消費税増税の一方で、アメリカから1機116億円の戦闘機を爆買い
- ▼年金だけでは暮らせないから2000万円の貯金をという政府

日本共産党 ブレずにがんばります

女性現職3つの政策



スクールバス無料化と運行改善

統廃合で学校が遠くなり、歩いて通えない子どもが大勢います。
そのついで子どもたちは毎日バス通学していますが、運行時間や停留所位置など改善が必要です。
なにより月3千円のバス代は大きな負担です。近隣自治体のように無料化をめざって粘り強く取り組みます。

子育て応援

「子育てや教育のことを毎回、議会でとりあげてくれるのは日本共産党だけ」と激励の声が寄せられます。
◆不登校◆発達障がい◆虐待◆子育て支援センター◆学童保育◆支援員処遇◆給食◆通学路◆就学援助など、しっかりと勉強して課題に取り組んでいます。
ぜひ、「ご意見をお聞かせください」。



国保・介護・水道の負担軽減

消費税は社会保障のためと言いながら、国保税や介護保険料の負担は増えるばかりです。年金から天引きされ、手元に残る生活費がますます減っています。負担軽減のために、税金や予算の使い方をただしていきたいと思います。
水道料金の引き下げを町に提案し、実現をめざします。

ぐらしを守る

日本共産党がずっと要望し続けてきたデマンドタクシーが、ついに運行開始されます。
地域の路線バスがどんどん廃止され「もつやるしかない」と町も決断。
高齢者ごややく使用しやすいものにするために、意見を聞いてよりよく改善していきます。ぜひご利用ください。



なくそう原発まもろう憲法

原発の危険性をくり返し訴え続け、議会も町長も「町民を福島のような目にあわせるわけにはいかない」という考えで一致しています。
国も企業にも「ダメなものはダメ」とつしすに言えるのは、日本共産党が企業献金も政党助成金も受けていないから。原発ゼロをめざします。

未来への責任

あいつく自然災害こそなえ、情報の伝え方や避難所の改善、体の不自由な方や子どもたちの避難方法など体制を見直し、命と財産を守ります。
安倍政権は、憲法に自衛隊を書き加え、軍隊として海外の戦闘地域に派遣できるようにしようとしています。そんな危険な改憲は断念させましよう。

あなたの願いたくしてくだわい

まちの宝は ゆたかな自然と そこに住む人々

原発事故の広域避難計画は無理。その後の生活ができない避難では困る。

水道料金の値下げを。他市町村より高い。



近所に公園がない。子どもたちの遊び場を増やしてください。



涸沼周辺のごみ問題。涸沼の水をきれいにしてほしい。

「平和憲法9条」いちばん大切なものを忘れないでほしい。



生活道路・通学路の整備を。排水もしっかりやって！

高齢者の医療費が増えて大変。介護保険料や国保税が重い負担になっている。

議員の仕事の透明性。町政・国政のお目付け役になってほしい。



最低賃金が低くてくらしが大変。正規雇用を増やす政策を。

防災無線が聞こえにくい。



消費税の減税を。生活用品が10%はおかしい。

企業誘致・商店街の復興を。

給食費を無料にしてください。



スクールバスの改善を！



防災対策。役場や消防署の位置を根本的に見直しを。

未来ある若者への支援を。結婚・出産へもっと手厚く支援をしてほしい。

年金を減らさないで！

茨城町は農業が重要な産業。農業でくらす町にしてください。

日本共産党 女性現職はねがいに届けます

実現
しました

デマンド型乗合タクシー運行 12月中開始

子ども医療費補助を高校卒業まで拡大

議会も町長も原発再稼働反対を表明